

昼 二時開演（一時半開場）

解説 中村修一

萩大名

（はぎだいみょう）

大名 野村 萬斎
 太郎冠者 内藤 連
 亭主 深田 博治

近々都から帰国することになった田舎大名が、太郎冠者の案内で、とある庭園に萩の花見に出かける。風流者の亭主が、来客に必ず一首所望することを知っている太郎冠者は、「七重八重 九重とこそ思ひしに 十重咲きいづる 萩の花かな」という聞き覚えの歌を大名に教えておく。見事な庭を楽しんだ後、いよいよ歌を詠むことになるが、大名は…。

— 休憩十五分 —

二人袴

（ふたりばかま）

舅 野村 裕基
 舅 高野 和憲
 太郎冠者 中村 修一
 兄 野村 太郎

今日は舅入り（結婚後、妻の実家に初めて挨拶に行く事）の日。舅の家では準備を整え、舅が来るのを心待ちにしている。一方の舅は、一人で行くのは心細いからと兄に舅の家の門前まで付き添われてやってくる。舅に礼装の長袴をはかせてやり、兄は表で待っていたのだが、太郎冠者に見つけられてしまい、兄も舅に挨拶することになってしまふ。しかし、長袴は一つだけ。さて、この兄弟はどうやってこの場を切り抜けるのか…。

夜 六時開演（五時半開場）

解説 内藤 連

入間川

（いるまがわ）

大名 野村 萬斎
 太郎冠者 飯田 豪
 入間の何某 高野 和憲

長らく都に来ていた遠国の大名が、太郎冠者を連れて本国へ帰る途中、入間川に行き当たる。そこで出会った入間に住む男が「そこは深い」と止めるのも聞かず、川を歩いて渡ろうとした大名は、深みにはまらずにぶねれになってしまう。昔から入間では「入間様（いるまよう）」と言って逆さ言葉を使うはずだと怒った大名は、男を成敗しようとするが…。

— 休憩十五分 —

附子

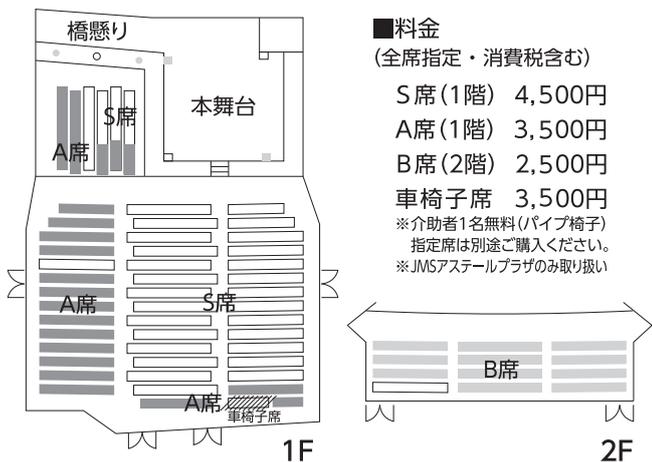
（つきす）

太郎冠者 野村 太郎
 主 深田 博治
 次郎冠者 野村 裕基

主人が太郎冠者と次郎冠者に留守番を言いつけ、桶の中に附子という猛毒が入っているので決して近づかないように、と言い残し出かける。附子が気になって仕方がない二人は、こわごわ様子を探ると、中身の正体は実は砂糖！二人は夢中になって全部食べてしまふ。言い訳の方法を考えた二人は…。

座席配置図

- 料金
 （全席指定・消費税含む）
- S席（1階） 4,500円
 - A席（1階） 3,500円
 - B席（2階） 2,500円
 - 車椅子席 3,500円
- ※介助者1名無料（パイプ椅子）
 指定席は別途ご購入ください。
 ※JMSアステールプラザのみ取り扱い



チケット販売所

JMSアステールプラザ ☎082-244-8000
 エディオン広島本店 ☎082-247-5111
 電子チケットぴあ 【Pコード515-544】
 ローソンチケット 【Lコード63561】

【交通のご案内】JR広島駅から

- 市内電車 ●「広島港（紙屋町経由）」行き
 〳「市役所前」下車約600m
- 「江波」行き
 〳「舟入町」下車約400m
- 市内バス 広島バス「吉島営業所」行き
 または「吉島病院」行き
 〳「加古町」下車南へすぐ
- タクシー 約15分

